



令和2年度

福賀小だより



「仕方がないから、中学で頑張ってください。」！？

6年生を送る会が行われました。
6年生の蟹谷くんのために
いろいろなゲームやプレゼントが
用意されていました！
私が一番ほっこり（…にやり）としたのは、
蟹谷くん
児童一人ひとりから出された
「福賀小学校クイズ」の一場面でした。

最初に
蟹谷くんは釘を刺されてしまいます！
「4問以上正解しないと、
1年生からやり直してもらいます！」
なるほど！
6年間過ごした福賀小学校に関する
クイズですから、
半分以上、正解してほしいものです！

ところが
後輩たちが準備したクイズが
なかなかくせものばかり……。
蟹谷くんはなかなか正解できません。
クイズを間違えるたびに、
後輩たちは、椅子からズッコける状態。。
最終的に7問中2問しか正解できず、
残念ながら「卒業できない」という結果に！！

この結果を
ゲーム担当者は
いったいどうさばくのだろう？？
と注目していたら、
「仕方がないから、中学で頑張ってください。」
。。。でした。

クイズが難しかったのも、
「仕方がない」という言葉が使われたのも
大好きな蟹谷くんと別れたくないから…かな。



後期学校評価の集計結果から

12月に実施しました
後期の学校評価アンケート。
集計結果については既にお知らせしていました。
2月24日の学校運営協議会で
委員の皆さんからご意見をいただきましたので
その内容をお伝えいたします。

以下の意見を参考にして
来年度に向けて
さらに見直しを図っていきたいと思います。

※ 集計結果の全容については、
既に学校だより Vol.17 にてお知らせ済み。



【学校に関わること】

- ・ チーム福賀で、いつ、誰が、何をしたらよいかということが分かりやすく具体的にイメージできたため、協力しやすかった。
- ・ 児童の積極的な姿勢が、4月と比べて感じられるようになってきた。
- ・ 地域で、学校だよりの記載内容が話題になるなど、地域の方は学校のことを気にくださっている。学校の様子を発信することが大切。

- ・ 子ども達がやらされている感じにならないように、子どもたち自身のやりたいという気持ちを大切にして活動に取り組んでいくと良い。
- ・ 積極性を育てる場面を意図的に作っていく必要があると思う。
- ・ 競争意識を活用することによって積極性が引き出されることもあると思う。

【家庭に関わること】

- ・ 家族に対するあいさつもきちんとできている。
- ・ 家庭の中であいさつができないと、地域に出てもできないと思う。
- ・ あいさつの声の大きさは個人差がある。

- ・ 家庭学習の必要性を子どもたちが感じておらず、やらされている感が否めない。
- ・ 家庭学習の内容のマンネリ化を打破できないだろうか。
- ・ 家庭学習については家の協力が必要である。

【地域に関わること】

- ・ 「積極性」と「表現力」の育成を、学校と一緒に「チーム福賀」でできていると感じている。
- ・ たくさんの地域の方が、重点取組事項を共有した上で、協力してくださっている。
- ・ 地域にできることは遠慮せずにどんどん声をかけて欲しい。

- ・ 学校運営協議会で提案された地域に関わる内容がもっとたくさん実施に繋がると良かった。
- ・ 地域との交流の際、必ず地域の方の名前を呼ばなければならない等の取組の工夫が良かった。
- ・ 子どもたちは地域の人とも対話が续くようになってきたように思う。

【一年間を通して】

- ・ 重点取組事項を、学校だけでなく家庭や地域と共有し「チーム福賀」として児童に接していく今年度の取り組み方を、皆さんご理解くださるとともに、しっかりと協力してくださいました。
- ・ 「チーム福賀」で取り組んだことにより、子どもたちにもその思いがしっかりと伝わったよう

に思います。来年度もこの進め方を継続していきます。引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- ・ 重点取組事項については、来年度も「積極性」と「表現力」をベースに継続するつもりです。その言葉については、ひょっとすると変更するかもしれません。4月以降にお示しいたします。